

### 八島湿原を守る柵

斉藤 瑛里

私は先日学校の合宿で長野県諏訪地方を訪れた。二日目に八島湿原へ行った時、ガイドの方が柵を指さしながら、こう説明して下さった。「この柵は、鹿から湿原を守るためのものだ。鹿は二メートルの高さを超えられるため、一メートルの柵にしたが、近くの石を踏み台にして超えられてしまっている。なので石にネットをはり、超えられないようにした」と。私はこの話を聞き、人

### 自然への配慮が大切

橋本 薫

先日、高校の合宿で、八島湿原へハイキングに行った。今回のように、生命が溢れる自然を目の前にしたのは初めてだった。八島湿原は、約二千年かけて現在の美しい姿になった。しかし、一方で増殖してきたシカに食べられた植物や、観光客が落とした食べ物の「み」が想像していたよりも多かった。人間による環境破壊

### お茶の水女子大学附属高校の生徒からの投稿①

#### 思いやりある長野

三枝 慶子

五月十三日から十五日まで私は一年生の仲を深めるためのオリエンテーション合宿として、長野県の諏訪に行きました。小学校でも何回も長野の方に行き、おまけに母の美家が上田市にあるため正直「またか」と思った。それでも諏訪の方にはあまり行ったことがなかったので楽しみました。諏訪地方を散策して思ったことは長野の人はその地域の人も人々を思いやる気持ち

#### 御田町商店街に感謝

浦野奈々香

先日、学校の授業の一環として長野へ行き、御田町商店街を訪れた。あいさつをするべく、笑顔で返してくれる。それだけではなく、私たち高校生が大切にしなければならぬことを教えてくれたり、戦争で辛いことがたくさんあった時代の話をしてくれ、私たちがとても恵まれているんだと改めて気付かせてくれたりする。商店街を少し歩

お茶の水女子大学附属高校の生徒たちが、5月に学年合宿で諏訪地方を訪れました。生徒たちから寄せられた投稿を紹介いたします。

#### 諏訪を訪れて

齋藤 瑞季

都会ではこれは相手に迷惑をかけてしまうかもしれない、おせっかいしたら何だと思ってるのと思われちゃうかもしれないと考えることができないことが長野では出来る。私は長野の人の、人を思いやる気持ちを実行に移し、それを素直に受け取ることが好きだ。

#### 蚕糸博物館を見学して

水野 結葵

ただけでも、商店街の方たちの仲の良さが分かる。地域の方たちの心のあたたかさを感じる事ができ、私にとっても嬉しい思い出となった。今では非常に活気のある御田町商店街だが、二〇〇三年当時は約三分の一が空き店舗だったという。それから十数年でこの商店街が活気を取り戻すことができた背景には、やはりこの「あたたかさ」が大きく関係していると思える。毎日をせわしなく生きていくと忘れがちな他人への思いやりの大切さを思い出させてくれた御田町商店街に、感謝している。

先日、学校行事の一環として、諏訪へ訪れた。訪れる前は「大きな祭なら、思いが強いのは当たり前だろう」と考えていた。もちろん、思いは強かった。しかし、たまた思いが強いだけではなかったのだ。地域全体で七年に一度の祭を盛り上げ、そして、多くの人に素晴らしい祭を伝えていく。多くの方に話を伺ったが、ほとんどの方が御柱祭についてお話しして下さいました。

私は驚いた。なぜ、こんなにも祭で皆が一つになれるのだろうか。話を伺う中で一つの答えを得た。諏訪の人々が御柱祭、そして、諏訪の地域そのものを愛し、大事にしているのではないかと。皆が愛し、大事に出来る「諏訪」をお互いで築いているからこそ、御柱祭への思いや素晴らしい祭はあるのかもしれない。初めて諏訪を訪れた皆さんのことに魅了された。お世話になった諏訪の方々に感謝の気持ちが溢れるばかりだ。是非一度、御柱祭を自分の目で見てみたい。

示している博物館です。また、株式会社宮坂製糸所も併設されており、工場見学もできます。そこで、蚕の繭から糸を作る方法を初めて知りました。私は、蚕が出てきた後の繭を使うのだと思っていました。しかし、実際は蚕が中にいるまま繭を茹でて、糸を紡いでいました。シルクを作るために蚕の命をいただいている事実を知って、シルクの見方が少し変わりました。製糸業は日本の近代化に大きく貢献してきました。それは、たっさんの蚕のおかげなのです。